

# 2010年 廁うんちく カレンダー



# ポンペイ遺跡の厠

紀元前6世紀前半、エストニア人の都市としてスタートしたポンペイ。いく度かの盛衰を経て紀元前80年代にローマ国家の元、繁栄をした。紀元79年夏のヴェスビオス火山の数回の噴火により姿を消した。1748年、農夫の鋤が青銅の遺物を掘り当てた時、再び、その姿を現すことになった。

ポンペイが栄えたことはその公共建築、神殿などの建物、街路や水道などの社会基盤、そして住宅の壁面を飾る壁画の多様性からも想像がつく。日に2食であった食生活も食物の化石から、かなり美味珍味な食材を遠方より運び豊かなものであった。



直線道路に置かれた飛石



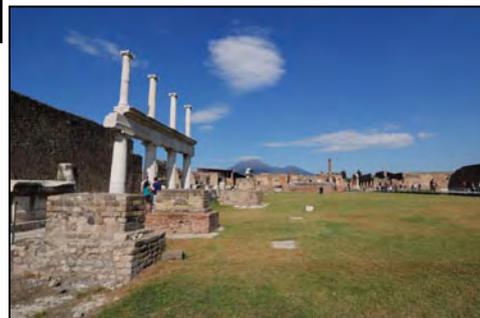
売春宿（ルビナーレ）の厠前に大きく開かれた構造からチャンバポットを出し入れして使用形式の厠と考えられる。注目すべきは入口、頭上の壁に描かれたエロチックなフレスコ画である。このような画が一般住宅の壁にも多く残されている。



街は碁盤目状に整然と整備されている



歩道と車道は約50cmの段差で区別され、車道は上水道ほど整備されていない下水道を兼ねていた。歩行者のために飛石が置かれ、馬車は巧みな運転を求められた。



## 参考文献

写真 小川 忠博  
オプション裏面 芸術新潮 1997年 4月号

2010年

1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

# 古代のウォシュレット

## ウンチク

排泄後、紙を使用するのは今でも世界の半数、指と水は東南アジアからインド、指と砂は砂漠地帯、砂漠によっては石、熱くなった石をポケットで保管しておき使用する、そのほか、トウモロコシのヒゲや葉を使用する。昔、日本ではアジサイ、フキ、栃、葛の葉等が利用されていたが、少し萎れたものを使用した。



トルコにある古代ギリシャ都市のEphesus 遺跡の厠



古代の水洗式、手動ウォシュレット、左図の如く、前を絶えず水が流れ、棒に括り付けられた海綿を浸し、ウォシュ、使用後、海綿を

流れて洗浄、汚れた水は排泄物を流す座面下の溝へと流れへ。



参考文献

トイレのなぞ 48  
Toilets of the World

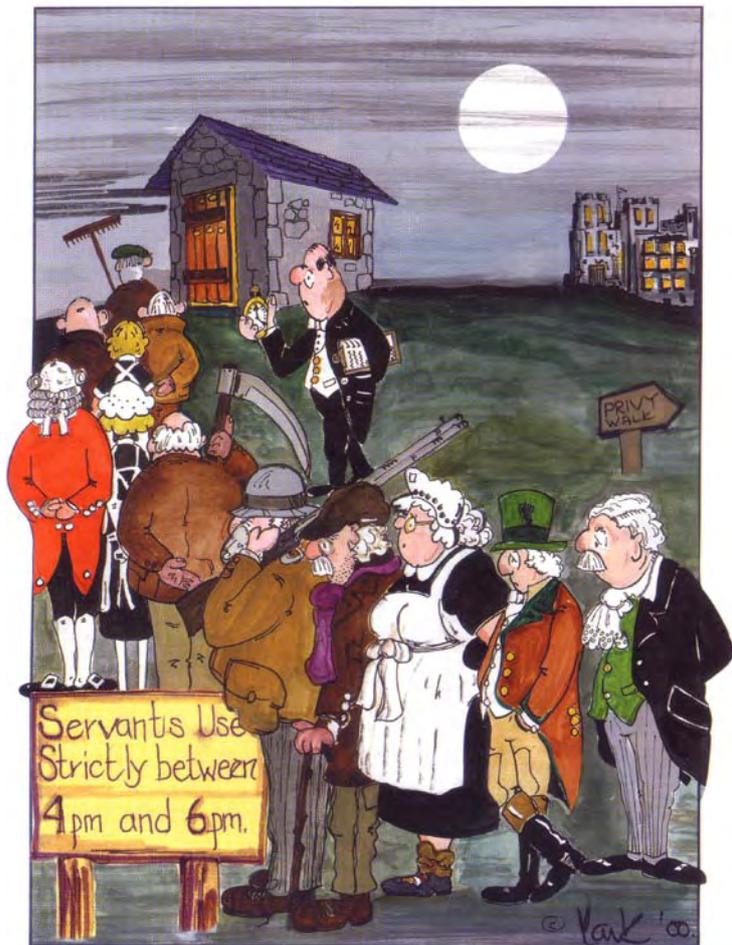
草土文化  
MERRELI

2010年

2月

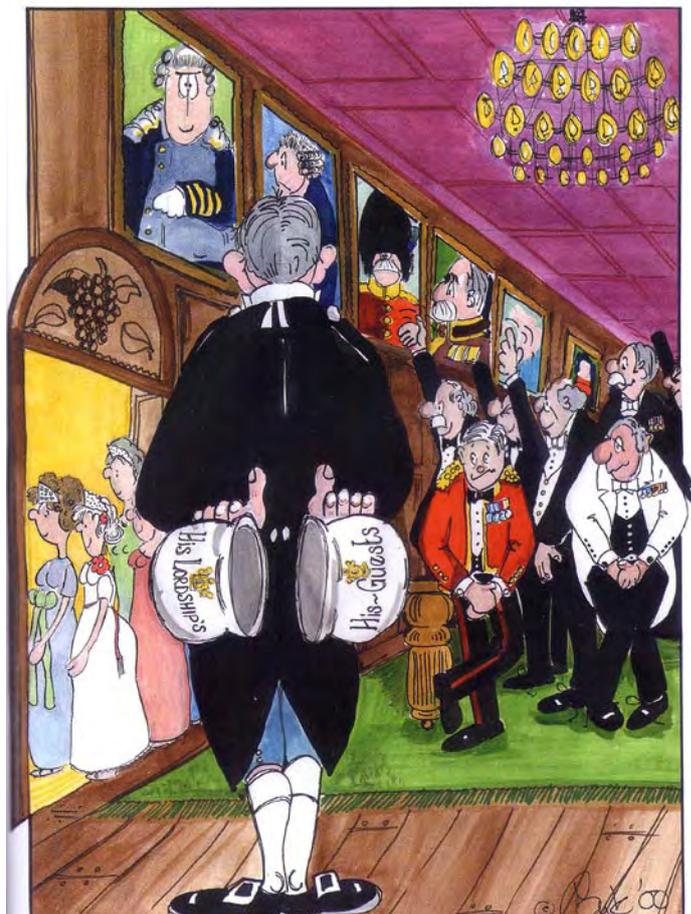
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

# 身分を問わず苦労した



貴重な戸外の厠は そう自由には使えなかった時代が長く  
高緯度の英国ウェールズ地方、冬は早く暗くなる

貴族の豪邸にも厠がなく、奉公人の大切な仕事。  
同じ物でも紳士と淑女用は区別するらしい



参考文献

PRIVIES OF WALES Tegai Publications

2010年

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

# ビデの文化

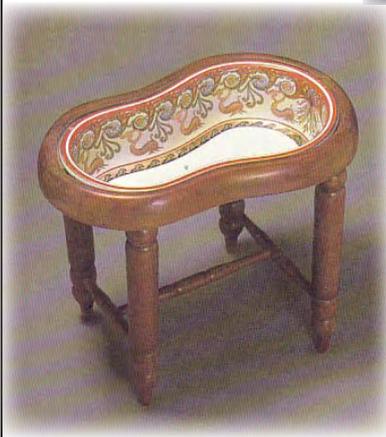
入浴ではなくシャワーを時に使用するという生活が普通の社会で、ビデは宮廷の貴婦人の秘密の身だしなみとして考えられ、それは娼婦宿まで広く普及してフランス人の三大発明といわれている。みだらな風俗の象徴とされ誤解された時期もあるが、実態は健康な生活のための必需品、男性世界の軍隊にも備えられたことは知られていない。手づくりの時代から家具として工場生産されるようになり、百貨店で家具として販売されるようになった。この時期、排水設備がないためチャンパーポットに準じた器を使用した。排水設備が備えられると陶器製が考案され、給水設備の完備と共に給水コック、そして温水使用の現在の姿になってきた。この間、ビデの生産はフランスからイタリアに生産の主流になってきた。しかし、現在は新しい形の日本スタイルビデがその場を取って代わるであろう。



オーストリア



20世紀初め、パリ、ボンマルシェ百貨店の高級家具カタログに載ったビデ



チェコ/ババリア地方



現代のイタリア製ビデ 未来を担うか日本製ビデ



幼児の入浴

ペットの休息場  
ビデの有効活用

足湯

2010年

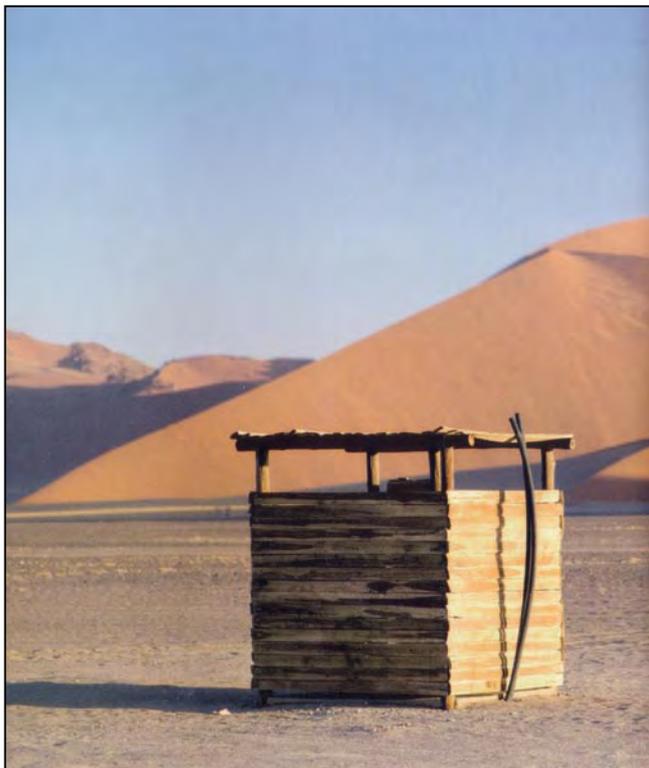
4月

参考文献  
ビデの文化史

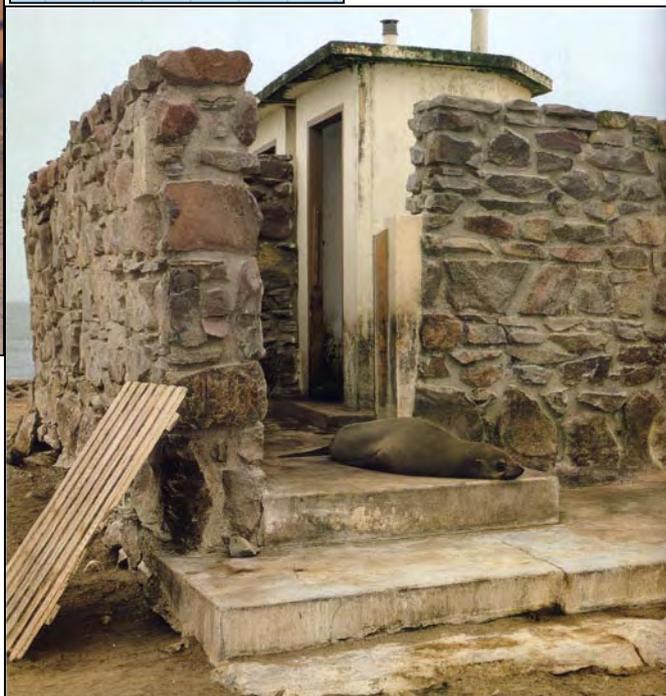
作品社

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

# ナミブ砂漠の厠



アフリカ南西部の海岸砂漠。  
大西洋岸沿いに南北 1600km、  
幅 40 ~ 130km を占める。



ダイヤモンドの漂砂鉱床地域として有名な場所、  
採掘人たちが使用するのであろうか、そしてダイ  
ヤモンド粉の混じった砂でお尻を清潔、研磨 .....

海と接する砂漠、時にハーレムの喧騒を逃れ、  
珍客がやって来るのか。

参考文献

NATURE CALLS

The Histor, Lore and Charm of Outhouse TEN SPEED PRESS

2010年

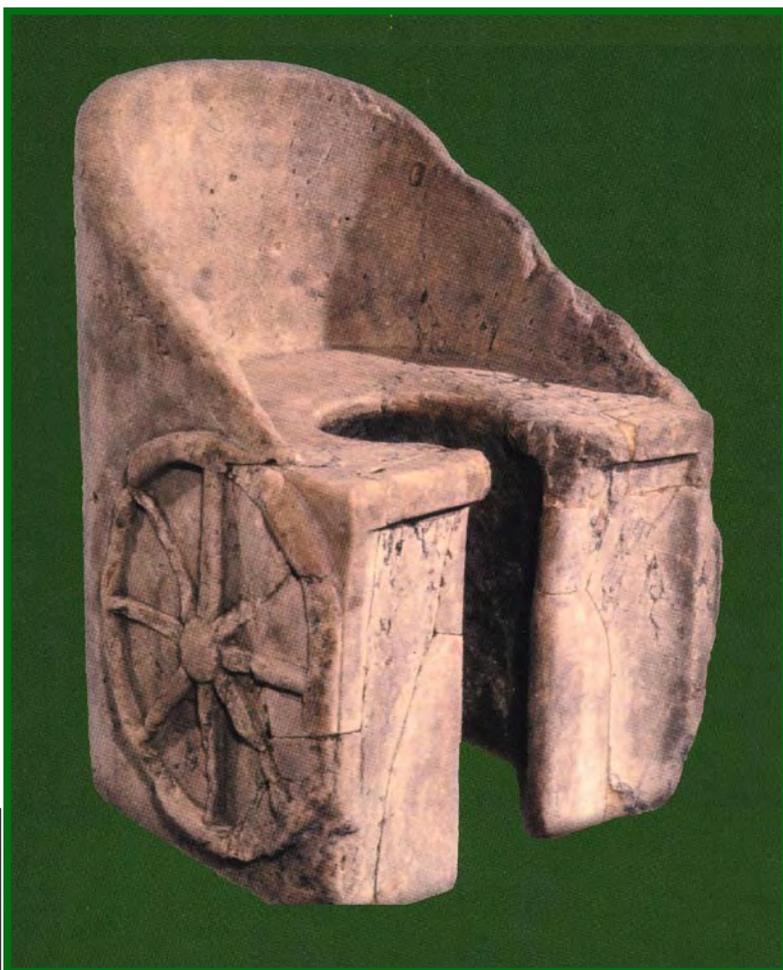
5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

# 古代トイレの謎解き？

2月で紹介した古代ギリシャ都市のEphesus遺跡と同じ形態の集団廁がローマ時代に続いた。この形態で素朴な疑問をもつ。お尻を拭く海綿、海草をつけた棒を差し込むためとは言え、前にくくられた開口部、小の方をしたら衣服は勿論、床を汚してしまわないかという疑問である。この疑問をとく鍵がある本の中にみつげられた。「東京見便録」の未来の便器にふれた章で男性の”座りション”向け便器開発でパナソニック電工担当者の「今まで座りション向けの便器がなかったのは、一般の便器が世界的に共通なサイズとデザインで、座りション派を想定していなかったことが考えられます。というのは、ウンチとオシッコが同時にできるのは東洋人だけで、西洋人にはできないらしいんです。つまり西洋人は座りションはしないということです」その話は聞いたことがある。ミュージシャンのMYは、アメリカ人の前で「俺はウンチとオシッコが同時にできる」と豪語し、彼らの前でそれをして見せて、チップを稼いでいたという伝説が残っている。(p146)

という記述がその回答への示唆を与えてくれたように感じた。



ローマ時代のイス式便器

多く残る左のような集団トイレと形態は同じだがチャンバーポットを使用するものであろう。位の高い者が使用したであろう個人用であろうか。



2010年

6月

参考文献

LATRINAE ET FORICAE  
Toilets in the Roman World Duckworth  
東京見便録 文藝春秋

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

# 外国人が見る厠

外国人は日本のトイレの特徴にスリッパの使用とハイテク、ウォシュレットを挙げる。右下の文章がスリッパ使用習慣を述べているものである。

日本人は世界にも珍しい歩くに歩けない履物をつくりあげてきた。それは厠下駄と呼ばれる履物である。

日本の住宅は高床式住宅である。住宅に入るときには必ず履物を脱ぐか足を清潔にする上足文化（裸足文化圏）で、他の下足文化（土足文化）とことなり、床は清潔な場であり、

万能の家具であった。床に盆をおいて食卓に、裁縫道具を置き作業台に、硯と筆と紙を置けば机として、布団を置き寝台の役割を果たす大きな家具であった。江戸時代中期に家の外に存在した厠、下便所が、母屋のほりだした部分の下屋に作られ、徐々に母屋の中に上便所として利用されるようになった。清浄な床に不浄な床（御不浄）が出現したのである。

清浄な床になれた裸足にはこの床は抵抗があった。ここに御不浄用の履物が出現する。御不浄用の下駄、草履の出現である。エドワード モースは「日本の住い・内と外」に江戸時代の面影が残る2つのスケッチを残している



Toilet shoes



Custom in Japanese private homes decrees that once the threshold is crossed, guests must remove their footwear and don one of many pairs of slippers available at the front door. To use the toilet, one must then exchange the house slippers for toilet slippers. Found just inside the bathroom door, these plastic slippers are easily identified by the universal man/woman toilet symbol. When finished with the facilities, one must change back into household slippers immediately upon leaving the toilet.

## 参考文献

Toilets of the World  
世界のタイル博物館

MERREL  
常滑市

2010年

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

# 朝顔の花々



2010年

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

# 災害時の厠

阪神淡路、中越地震の教訓からいろいろな角度から問題が検討されてきているが、“たべる、ねる、だす”の“だす”排泄の問題はあまり知られていない。あまりにも水に頼りきってしまっている都市の排泄物処理、震災による下水道機能の停止による影響は100%である。

震災対策トイレとしては下記の表のようなものがあるが、個人としては携帯トイレレベルの準備であろう。災害直後、インフラの崩壊から地域社旗、公的レベルの対応が見られるのは3日は要するという。3日間分の携帯トイレの家族分の準備が望まれる。各自のマイトイレの準備である。さらに見逃せないのが帰宅困難者の立場としての準備、職場のロッカーにマイトイレの準備を考えるべきであろう。この携帯トイレで不可欠なのがプライバシー空間の確保である。日頃から生活の中、通勤経路の途中に心しておく必要がある。想像を絶する集団の移動となるという。

## 震災対策トイレ

設置	形態	タイプ	備考
仮設・移動	携帯トイレ	吸収シート	大量の固形ごみ発生
		凝固剤等	
	簡易トイレ	ラッピング	
		乾燥焼却	
		薬剤添加	
	組立トイレ	コンポスト	仮設トイレ
		マンホール直結	
		地下ピット型	
	リボックストイレ	便槽一体型	バキューム車搬送
		簡易水洗	
自己処理型	循環トイレ	対策準備に経費大	
	コンポストトイレ		
車載トイレ	トイレ室・処理装置一体		
常設	便槽貯留		
	浄化槽		



携帯トイレのいくつか

次に、近隣地域で有効な準備がマンホール直結型トイレであろう。準備に加え、町内会等で下水状況、住民の動線、交通状況等を検討し、設置場所を決めておくことが肝要であろう。

加えて、実際にマンホール蓋をはずしてみるなどの経験をすることが必要である。蓋をはずすことだけでさえ、素人には非常に難しいものである。



洋式マンホールトイレの一例

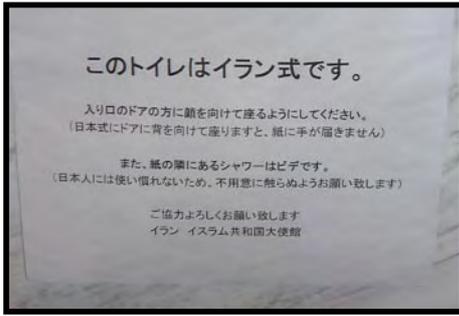
参考文献  
 防災トイレフォーラム 2009  
 日本トイレ研究所

2010年

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

# イスラム式はむずかしい



左はイラン大使館のトイレに貼られたものである。大使館を訪れる方々はある程度の教養人だと考えられる、それでもこのお願いである。

イスラムではトイレは排泄の場としては勿論、加えて身を清める場、日本での手水場としての意味を持つ。イスラムのトイレに水は不可欠である。

用を足した後はトイレットペーパーでなく水で洗って、その後、家庭ではタオルで拭く、外ではペーパーを使う。男性は立ションは禁止である。当然、

宗教的制約を受けるものである。まずカーベ神殿(メッカ)に向かってしゃがんだり、お尻を向けてはいけない。トイレは神殿の方向に対して直角なるように作られねばならない。したがって、我が国のようにドアに向かって横に座ることはない。また、ドアに背を向けることは日本以外にないようだ。イスラムのトイレに行ったら小でもすわって、ドアに向かって座って行くことを最低限の知識と持っておく必要がある。排水口の真上に肛門がくるように座ることである。

左 イスタンブール空港  
右 ダマスカス レストラン



参考文献

写真 高野直明

HP: TOTO キッズトイレおもしろ図書館

2010年

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

# TOILET



2010年

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

# 厠の未来

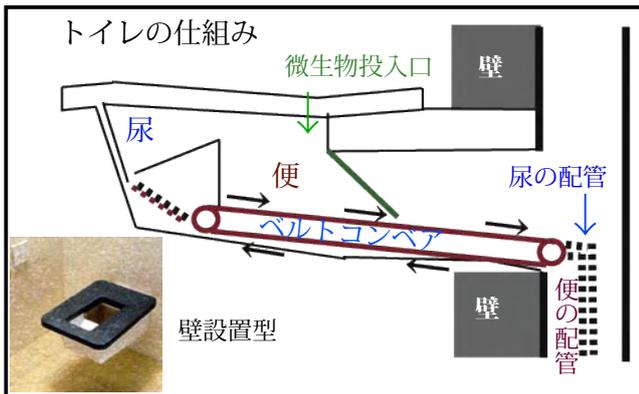
清水を排泄物の運搬に大量に使用し、半分も栄養分を残したものを廃棄物と扱うシステム、いつまで許容されるか。厠の新しい価値が次の観点から問い直されることになってきている。

- 水を使用しないで済む。
- 排泄物からエネルギー（電気、熱、ガス）を得る。
- 尿尿を堆肥化し、植物を育てる。

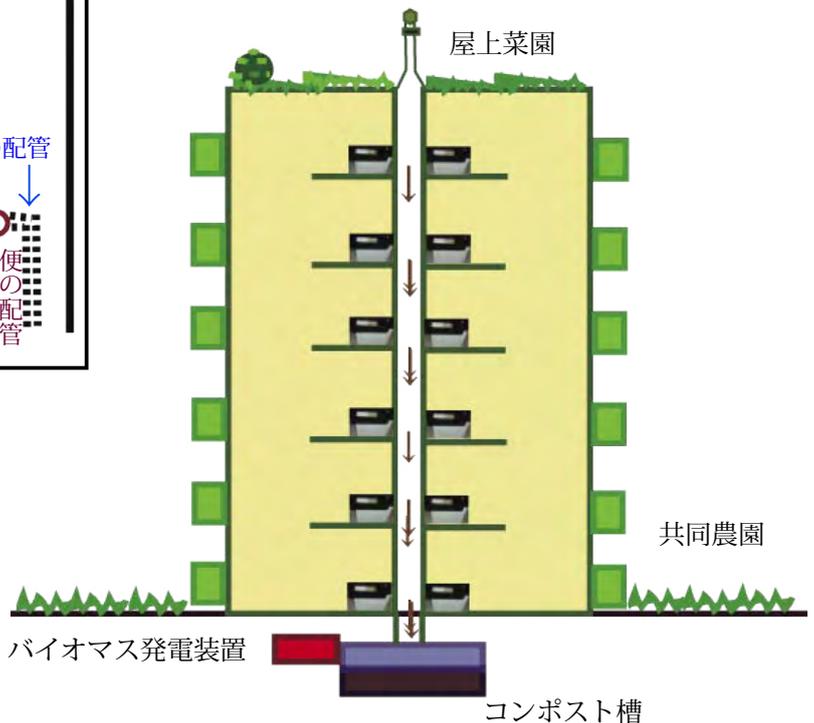
排泄物を極力、発生した場所で処理する必要がある。従来と異なり、小単位の建物、地区、地域での処理が不可欠となる。排泄物の循環利用には微生物の利用がどうして

も必要となる。下の案は INAX が提案したものである。微生物を利用するためには便と尿をわけることが必要となる。この他、あと始末に使用するものが微生物の活動の邪魔にならないものの開発等が求められる。

地区規模のシステムには排泄物を処理槽まで運搬する方法が必要になる。交通機関で利用されている真空処理方法などが考えられているが、経費、騒音などの難点がある。さらに、江戸時代に戻り、新しい排泄物の密封運搬方法を工夫しての植物生産工場への移動を可能にし、生産物との交換方式などが考えられる。



床置形



2010年

12月

参考文献  
INAX Suitable Style Project INAX

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	